

【各グループの発表】

●Aグループ

- ・「伊万里」という名前自体が他の地域にない特色。焼物、伊万里牛、フルーツなど有名。
- ・他の地域は名前を聞いて特産がすぐに思いつかないところが大多数。
- ・伊万里に住んでいるとなかなか実感できないが、外から見ると分かる伊万里の良さ。
- ・多くの雇用が生まれる企業がない地域もある中、伊万里にはSUMCOがある。
- ・伊万里で働いてはいても、伊万里に住んでいない人、武雄市や有田町の近隣市町に住んでいる人も多い。
- ・子育て支援の面で伊万里は弱く、伊万里を選ばない人が多いのではないか。
- ・子育て世代の方をどうやって手厚く伊万里の中に残していくのか。
- ・SUMCOに人材が流出している問題があり、企業は人材確保のために社員の子育ての安心や夢の実現に取り組んでいく努力が必要。
- ・行政だけに頼るのではなく、企業も自分たちで解決していくべき課題がある。

●Bグループ

- ・伊万里有田共立病院の財政健全化。
- ・子どもたちがリラックスして過ごすために、学校の敷地外に児童クラブをつくれないうか。
- ・子育てしやすい伊万里にしていくために、第3子から無償化できないか。
- ・子どもたちが安心して登下校できるまちづくり。通学路の安全対策。
- ・駅前道路の自転車専用道路を走っている車がいる。

●Cグループ

- ・三世同居を前提とした移住・定住への支援。
- ・お節介役のおじちゃん・おばちゃんが必要。
- ・古き良き地域の連携ができるまちづくりが良い効果を生むのでは。
- ・製造業の大手企業はあるが、デスクワークができる企業がもっと必要。
- ・自助、共助の意識を市民がしっかりと持ち、なんでもかんでも市に頼らない。
- ・一つの施設で買い物や食事を楽しめる場所がない。

●Dグループ

- ・伊万里ではたくさん子どもを産みたい人が多いが、経済的負担が大きいく次子を諦める人がいる。
- ・もっと母親が動きやすいように、安心して子どもを預けられる場所があれば。
- ・子育て世代の声を聞く場をもっと持ってほしい。
- ・市民会館跡地を休日に子どもを連れて遊びに行ける場所にしてほしい。
- ・中高生が友達と居られる場所を。

●Eグループ

- ・ショッピングセンターがほしい。
- ・市の中心部に市民が集まる公園がほしい。
- ・文化施設が少ない。
- ・交通の便が悪い。
- ・小中高校生の子どもを含めた、幅広く市民の声を聞く場所が必要。
- ・山口知事の発表で、専門大学の設置の話が出ている。伊万里に特化したIT産業や造船業、農業、工業関係、など技術的な学校ができないか。
- ・伊万里市内の若者がみんなSUMCOに行ったら中小企業は太刀打ちできない。
- ・市外からSUMCOに就職して、結婚して、伊万里に定住してもらいたい。

●Fグループ

- ・伊万里は食。魚も肉も果物も美味しい。
- ・歴史もあって、黒曜石など、素材もいっぱいある。
- ・面積が広いのに人口が増えない。核家族化で世帯だけ増えていく。
- ・出生率が全国的に下がっている。
- ・買い物時の流出、人材の流出、市外からの通勤が多いのが課題なので、思い切った政策が必要。
- ・いじめがないまちにしたい。
- ・歴史を学ぶことが伊万里よく知り愛することに繋がる。大事にしていかななくてはならない。